

【人文科学研究科】

年度	タイトル
2003年度	欧羅巴の昔話における母性：KHMとその類話を中心に
2003年度	ロベルト・シューマンの芸術観
2003年度	Normgedanken bei den Grammatikern im 17.-18. Jahrhundert in Bezug auf die Rechtschreibung
2003年度	テレビニュースにおける女性被害者報道
2004年度	安楽死をめぐる生命倫理学上の諸問題
2005年度	フェリックス・ブラックモンと陶磁器のジャポニスム
2005年度	横光利一『旅愁』研究
2005年度	お雇い外国人キヨツソーネが描いた神功皇后と国家理想風景
2005年度	ポール・ヴェルレーヌの初期詩篇における心象風景
2005年度	戦死者の記憶：沖縄の戦死者にまつわる幽霊話から
2005年度	変動する日本の就業構造：新たな格差社会の到来の危機
2006年度	十返舎一九黄表紙の研究：その教訓性と多様性について
2006年度	障害者スポーツとノーマライゼーション
2006年度	Hip Hopクラブ・カルチャーにみる集団の規範とジェンダー
2006年度	マオリがマオリであるために：「マオリの目」を通しての教育
2007年度	ワイマール共和国成立期の軍隊と政治：カップ＝リュトヴィッツ一揆を中心に
2007年度	「散らかり」の美術史 ：モノをとりまく欲望、近世のオランダと日本の静物表現の比較から考える
2007年度	文禄期の伏見城造営と関白秀次の立場 ：普請・作事・材木調達をめぐって
2007年度	累の研究：近世における累物の受容と累像の変遷
2007年度	芥川龍之介研究：「戯作三昧」「地獄変」における芸術至上主義
2007年度	三島由紀夫『愛の渇き』研究：悦子像を中心に
2007年度	情報化社会における海賊版と規制 ：中国の海賊版ソフト問題についての考察
2008年度	身体の“型取り”：近現代美術を中心に
2008年度	告白される分身：ホフマン『悪魔の霊液』論
2008年度	ショーペンハウアーとライブニッツ：悪の問題をめぐって
2008年度	中学校英語教科書に出現する語彙の特徴：初級学習者の語彙指導を考える
2008年度	中世後期京都における諏訪氏と諏訪信仰：『諏訪大明神絵詞』をめぐって
2008年度	三島由紀夫文学作品中の老女
2008年度	小袖模様雛形本と浮世絵 ：「雛形若菜初模様」からみる江戸モードについての一考察
2008年度	知識のメディア史的考察：インターネットと知識の“断片化”
2008年度	中学校英語教科書に現れる前置詞の考察
2008年度	単身男性「ホームレス」の生活世界 ：男らしさからの解放と「関係的自立」に向けて

年度	タイトル
2009年度	屏風における「記憶の形象」：東博本「浜松図屏風」をよむ
2009年度	黄表紙の豆男
2009年度	火伏せ信仰：福島県郡山市湖南町の古峰ヶ原講を事例として
2009年度	会津藩で創出された猪苗代兼載像
2009年度	日本のメディアにおける謝罪会見の分析
2009年度	中高年女性の再就学と「女性の自立」の再検討 ：50歳代女性を中心とした大学院生への聞き取り調査から
2010年度	古代歌謡が語る歴史：歌謡から万葉集へ
2010年度	茶文化に占める泡の位置：中国茶書と茶詩の表現を中心に
2010年度	アイヌ民族の食文化の展開：ジャガイモの保存食から見る和人ととの関係
2010年度	内田百閒『東京日記』研究
2010年度	“Multi-Roots”の人々のメディア表象とイメージ形成に関する考察 ：雑誌内容分析とインタビュー調査から
2010年度	若年失業と非正規雇用の規定要因とその変化
2011年度	近世ヨーロッパの海賊：船乗りの共同体的規範と人種構成をめぐって
2011年度	「性同一性障害」者のアイデンティティ
2012年度	A Study of Japanese Returnees Coming fro English Speaking Environments
2012年度	ワグナーのロマン主義オペラにおける異界 ：《妖精》と《ローエングリン》を中心として
2012年度	エミール・ギメの日本コレクション
2012年度	ハンス・ベルメールと人形：多重化する空間
2012年度	セリーヌと政治
2012年度	小袖雛形本と絵本にみる図像転用についての一考察 ：消費される意匠の背景
2012年度	心中物とパロディ：黄表紙を中心に
2012年度	農村における近代家族の形成：農村家庭雑誌『家の光』を事例として
2012年度	日本の子ども向けテレビ番組におけるCMの内容分析 ：ホストセリング、プロダクト・プレイスメントの観点から
2013年度	フランス語テキスト時制分布と物語構成 ：セギュール夫人“Les Malheurs de Sophie”の分析
2013年度	ジャン・ジャック・ヴァルツにおけるアイデンティティの葛藤 ：挿絵画家Hansiから見た『アルザスの歴史』
2013年度	場を飾る衣服：衣桁飾り・誰が袖図屏風
2013年度	江戸時代の手品本研究：草双紙との比較、その娯楽性について
2013年度	替えもの神事研究における鸞替神事の一事例
2014年度	夢の語り分析：フランス語テキストにおける夢の表現とその意味
2014年度	信州雨宮御神事：城下町松代天王祭との比較
2014年度	『こゝろ』の空間：「東京」と「故郷」について
2014年度	草双紙「桃太郎」物の研究：黄表紙を中心として
2014年度	「僕ら」の女の子写真から、わたしたちのガリーフォトへ ：1990年代におけるフェミニズム・フォトグラフィーの系譜
2014年度	ゆれ動く経験：3.11被災地で市民メディア活動をした学生を例に

年度	タイトル
2016年度	マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』論 ：南部の「父」へのアンビバレンス
2016年度	「動物のロマン」にみる「カストール文庫」の革新性 —フランス現代絵本の夜明け
2016年度	18世紀ヴェネツィアにおける「仮面」の文化—自由か強制か—
2016年度	学校における性的マイノリティの子どもの経験—教師との関わりを中心に—
2016年度	大正期の谷崎作品がつける「仮面」とその「主眼」
2017年度	「脱領土化」をめぐるポピュラー音楽 —1990年代-2000年代を中心に・日本のクラブカルチャーを通して
2017年度	変遷するロボット表象 ：科学に影響される人間とロボットの関係性
2017年度	カラヤンの音楽性の特徴をめぐって
2017年度	ゲーテと18世紀末のイタリア ～当時のインフラから『イタリア紀行』を読む～
2017年度	岡本綺堂論 —短編怪談を中心に—
2017年度	古今集和歌における類型的表現の年代性 —「つつ止め」の構造に関する
2017年度	日本の学校における国際児の子どもたちへの対応をめぐる現状と課題
2017年度	若年層の親との援助関係における階層間格差
2018年度	谷崎潤一郎『颯風』論
2018年度	宗族村に暮らす女たち —女性の視点からみた福建省宗族組織の実際—
2018年度	「Xジェンダー」から問い直す 性別の二元制と「心の性」/「体の性」言説 —「Xジェンダー」当事者へのインタビュー調査から—
2018年度	パチンコ業界におけるコンテンツ消費について
2018年度	放課後児童クラブの子どもの声を聴く —子どもアドボカシーの観点から—
2019年度	「しんどい親」の介護をめぐる物語
2019年度	日本中世武家社会の所領支配をめぐる展開 —鎌倉期を中心に—
2019年度	泉鏡花作品における恋愛と感応する靈魂
2019年度	赤城山日光山神戦伝説の形成過程に現れるムカデ退治譚の研究
2019年度	アニメファンを「聖地」に誘う要因に関する研究 —メディアとの接触に着目して—
2020年度	ドイツにおける保守革命論再考 —批判的先行研究と新しい研究視座をもとに
2020年度	Tough構文におけるtough述語に関する一考察 —impossibleとpossibleを比較して—
2020年度	若者の居場所におけるスタッフの役割に関する調査研究
2020年度	修二会における造花の意義についての研究 —薬師寺修二会花会式を起点に—
2020年度	日本のマンガ・アニメ起源の日源外来語が 中国のネット用語に及ぼす影響に関する研究
2020年度	堀辰雄「物語の女」論 —ロマネスクという問題

年度	タイトル
2020年度	在日インドネシア人ムスリムの信仰実践・メディア活用・コロナ時代の活動 —東京在住の学校教師と宗教組織への聞き取り調査を中心に—
2020年度	中国における流動児童の教育機会と学力への着目 —家庭背景・社会関係資本との関連—
2021年度	ヨーロッパの言語教育と日本の外国語教育
2021年度	クィアの視点から見たヘヴィメタル —「男らしさ」と「逸脱」について—
2021年度	小袖における鷹模様に関する一考察 ：東京国立博物館蔵「振袖 白縮緬地梅樹衝立鷹模様」をめぐって
2021年度	「ケアに係る残酷さ」に対してのケアの社会化の議論の有効性
2021年度	中国における祠堂再建現象に関する社会学的研究 —江西省北部何姓村落を例として—
2022年度	ウィリアム・フォークナー『アブサロム、アブサロム！』論 —クエンティン・コンプソンの苦悩—
2022年度	日本の学校における子どもの権利についての考察 —ある私立大学の教職課程履修学生からの聞き取り調査をもとに—
2022年度	登校回避感情が変化しやすいのはどのような子どもなのか —ソーシャルボンドの個人内変化に着目した分析—
2022年度	中国のSNSにみられるフェミニズム言説研究
2023年度	小茂田青樹論 —「虫魚画卷」にみる生物表現をめぐって—
2023年度	泉鏡花の河童像 —「貝の穴に河童の居る事」「河伯令嬢」—
2023年度	日本と中国の文献上に見られる古代羽衣伝説の天女と羽衣の変遷
2023年度	中国と日本における『三国志演義』の人物像の変化 —蜀後期三人の武将を中心に—
2023年度	中国における既婚女性の第2子の出生意欲の社会学的分析
2023年度	昔話の骨組み抽出の試みとそれによる比較分析の実践 「パシュクンジ」とKHM21「灰かぶり」を例に
2023年度	『ヘンリー五世』における独白の特異性 —王の双生性のアイロニカルな表現法—
2024年度	荻生徂徠における朱子学批判 —『弁名』『弁道』にもとづいて—
2024年度	「カルチャーがクラブハウスから生まれるM県」と「カルチャーがサイファーから生まれる東京都」 —ラップカルチャーにおける社会関係資本の比較分析—
2024年度	転換期の学校における教育評価 —中等教育段階の英語科教員からのききとりをもとに—
2024年度	ファッションのボーダーレス化 —ジェンダー・階層・国境— —1960/1990/2010年代の『VOGUE』を中心に—